

# 事後評価アンケート結果

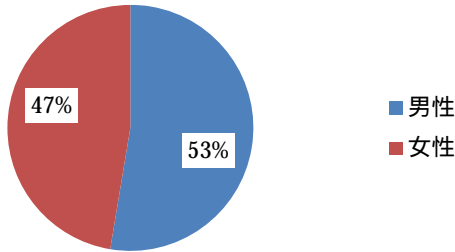
整理番号 H25 - 3

事業名	河川改良事業	箇所名等	奥内川
-----	--------	------	-----

アンケート対象	奥内川周辺の世帯		
配布方法	委託業者による直接配付	(配布部数)	97部
回収方法	委託業者による直接回収	(回収部数)	77部
回収率	79.38%		
アンケート結果			

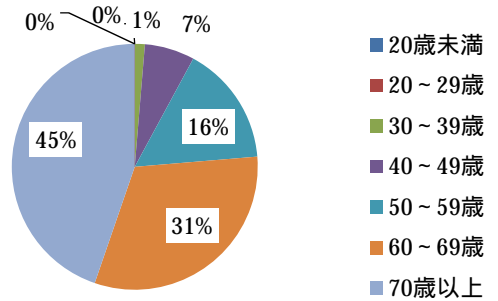
【性別】 有効回答数 76

問1 あなたの性別は、次のどちらですか



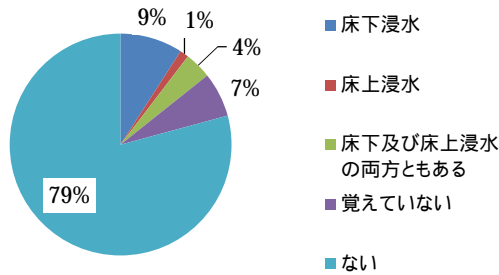
【年齢層】 有効回答数 76

問2 あなたの年齢は、次のどれに該当しますか



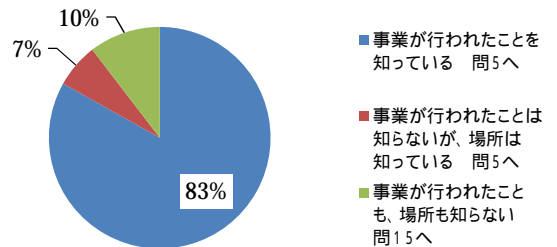
【浸水被害】 有効回答数 77

問3 あなたは、奥内川の氾濫による被害にあわれたことはありますか



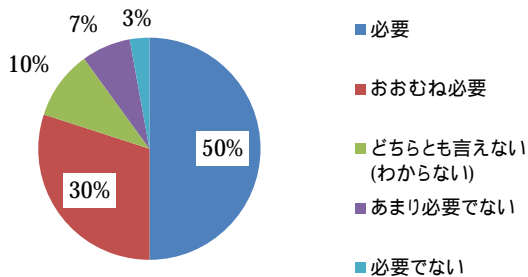
【事業の認知度】 有効回答数 77

問4 今回のアンケートの事業が行われたことをご存知ですか



【事業の必要度】 有効回答数 70

問5 あなたにとって、この事業は必要だと思えますか



問5理由 8件

- 必要 6件
  - ・災害防止のため。 4件
  - ・広くなって良かった。 1件
  - ・見た目もわるく、今にも崩れそうに見えた。 1件
  - ・工事後は、きれいになった。
- おおむね必要 1件
  - ・氾濫は経験ないが、準備は必要だから。 1件
- 必要でない 1件
  - ・なにも変わらない。 1件

# 事後評価アンケート結果

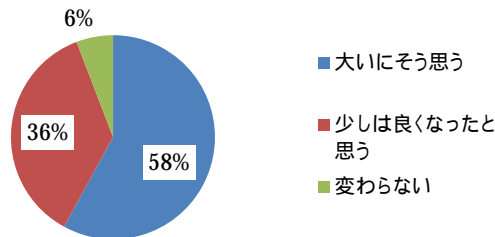
整理番号 H25 - 3

事業名	河川改良事業	箇所名等	奥内川
-----	--------	------	-----

### 【事業による安心度】

有効回答数 69

問6 あなたにとって、この事業を行ったことにより、浸水被害が防止され、安心できる地域になりましたか



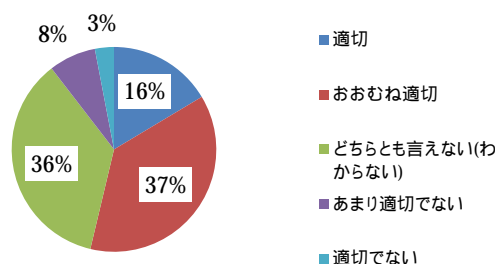
問6理由 1件

- 大いにそう思う 1件
  - ・できれば線路の上の方も早く工事して欲しい。

### 【管理状況】

有効回答数 67

問7 この事業で整備した奥内川は、県が管理しておりますが、管理は適切に行われていると思いますか



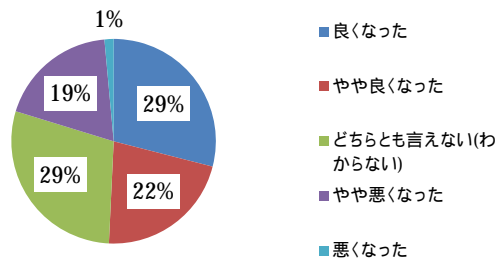
問7理由 8件

- おおむね適切 2件
  - ・上流はまだ適切でない。 1件
  - ・砂等がすぐ埋まる。 1件
- どちらとも言えない(わからない) 2件
  - ・浚渫しても、すぐ溜まる。 1件
  - ・年経過により浅くなってきているので、そこを管理してほしい。また、津軽線より山側が狭くなってきている。 1件
- あまり適切でない 2件
  - ・草刈をしてほしい。地区住民がしている。 2件
- 適切でない 2件
  - ・浚渫等をしてほしい。 2件

### 【自然環境の変化】

有効回答数 69

問8 この事業の実施により、河川の自然環境は、事業の実施前と比べてどう変化しましたか



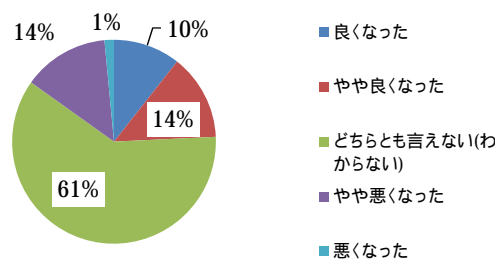
問8理由 6件

- やや良くなった 2件
  - ・道路が広がった。 1件
  - ・冬に白鳥が来ている。 1件
- やや悪くなった 3件
  - ・魚がいない、来ない。 3件
- 悪くなった 1件
  - ・魚がいなくなった。 1件

### 【水質の変化】

有効回答数 66

問9 この事業の実施により、水質は、事業の実施前と比べてどう変化しましたか



問9理由 2件

- どちらとも言えない(わからない) 2件
  - ・上流水田(圃場整備)地域・河川の形状も従前と変わった。 1件
- やや悪くなった 1件
  - ・蛭が出なくなったこと。魚の姿が少なくなった。 1件

# 事後評価アンケート結果

整理番号	H25 - 3
------	---------

事業名	河川改良事業	箇所名等	奥内川
-----	--------	------	-----

**【景観の変化】** 有効回答数 69

**問10 この事業の実施により、景観は、事業の実施前に比べてどう変化したと思いますか**

良くなった	57%
やや良くなった	29%
どちらとも言えない(わからない)	9%
やや悪くなった	4%
悪くなった	1%

**問10理由 5件**

- 良くなった 3件
  - ・広くて良い。 1件
  - ・きれいになった。 1件
  - ・土手に雑草がなくなった。 1件
- やや良くなった 1件
  - ・改修したところはキレイ。 1件
- やや悪くなった 1件
  - ・前の方が良かった。 1件

**【親水(河川への親しみやすさ)の変化】** 有効回答数 68

**問11 この事業の実施により、親水(河川への親しみやすさ)は、事業の実施前と比べてどう変化したと思いますか**

良くなった	12%
やや良くなった	13%
どちらとも言えない(わからない)	40%
やや悪くなった	7%
悪くなった	28%

**問11理由 8件**

- やや悪くなった 4件
  - ・昔は泳いだ。今はない。 1件
  - ・川に入れない。 3件
- 悪くなった 4件
  - ・川に入らなくなった。 1件
  - ・川に降りれなくなった。 1件
  - ・川で遊ばなくなった。 1件
  - ・人工的になった。(災害防止のためには仕方ない) 1件

**【工事等の改善点】** 有効回答数 66

**問12 この事業で行った工事や完成した施設について、改善した方がよいと思う点がありますか**

改善点がある	11%
改善点はない	53%
わからない	36%

**問12理由 5件**

- 改善点がある 4件
  - ・川に落ちないように柵が必要。 1件
  - ・川へ降りれるようにしてほしい。 1件
  - ・水とふれあえない。コンクリート嵩上げのため。 1件
  - ・年月が経過したことにより、土砂が溜まり浅くなってきている。 1件
- 改善点はない 1件
  - ・もう、いじらないでほしい。 1件

有効回答数 64

**問13 この事業を行ったことにより、河川愛護の意識が高まったなど、「事業目的(融雪や集中豪雨等による奥内川の氾濫防止)」にあげた以外に効果があったと思いますか**

効果があった	48%
効果はなかった	25%
わからない	27%

**問13理由 7件**

- 効果があった 6件
  - ・ボート等の係留、河床の堆積物の露出などがなくなって、河川環境がよくなった。 1件
  - ・ゴミの投げ捨てがなくなった 2件
  - ・危険がなくなった。 1件
  - ・今まで氾濫もないし、安心して生活できる。 1件
  - ・奥内町会で年1回川払い(河川の草刈)を実施している。これも、河川愛護の意識が高まったことと思う。 1件
- 効果はなかった 1件
  - ・事業目的以外の効果はないが、事業目的の効果は大きい。 1件

(別紙)

## 事後評価アンケート結果

		整理番号	H25 - 3
事業名	河川改良事業	箇所名等	奥内川

【アンケート対象事業に対する意見・要望】 4件

問14 アンケート対象事業に対して、その他のご意見・ご要望等がございましたら、お聞かせください。

- 草刈りをしてほしい。
- 奥内川の上の川を広げるか、川の最後の所を広げてやれば良いと思う。
- 河川での緑が少ない。
- 維持管理費を計上すべき。

【アンケート対象事業以外の公共事業に対する意見・要望】 12件

問15 アンケート対象事業に限らず、公共事業についてご意見・ご要望等がございましたら、お聞かせください。

- 除雪(特に小路)回数が少ない。国道との段差も解消されない。毎年道路工事があり、通行が不便である。
- 除雪をしっかりとってほしい。冬期間の工事はやめてもらいたい
- 冬の歩道の除雪が必要。
- 側溝が早く整備されてほしい。(融雪溝)
- 宮田地区の融雪溝工事の早期着工をお願いしたい。
- 道路の凸凹が多い。歩きづらい部分整備してほしい。
- 歩道の段差が気になる。
- 工事の施工業社によっては交通が不便。
- 工事業者の謙虚性が欲しい。
- はたての貝ガラのにおいがきつい。海岸線の道路を作ってほしい。
- 住民要望をくみ取ってほしい。
- 奥内橋が冬に凍るので危ない。

# 事後評価箇所状況写真

整理番号 H25 - 3

事業名	河川改良事業	箇所名等	奥内川
-----	--------	------	-----

【事業実施前の状況】(宮川橋から河口方向)



【事業実施後の状況】(宮川橋から河口方向)



【事業実施後の状況】(宮川橋から奥内橋方向)



# 事後評価箇所状況写真

整理番号 H25 - 3

事業名	河川改良事業	箇所名等	奥内川
-----	--------	------	-----

【事業実施後の状況】(奥内橋から宮川橋方向)



【事業実施前の状況】(奥内橋から津軽線方向)



【事業実施後の状況】(奥内橋から津軽線方向)



# 費用対効果分析説明資料

整理番号	H25 - 3
------	---------

事業名	河川改良事業	箇所名等	奥内川
-----	--------	------	-----

### 【費用対効果の算定内容】

#### 1. 費用対効果の算定根拠

算定については、『治水経済調査マニュアル(案)』(平成17年4月 国土交通省河川局)に基づき行った。本マニュアルにおいては、経済評価するうえで洪水氾濫被害の防止効果を便益(B)とし、事業着手時点から完成に至るまでの総建設費と、評価対象期間内における維持管理費を費用(C)として、それぞれ現在価値化したものを評価することとしている。

#### 2. 算定の前提条件

- (1) 評価基準年度: 平成25年度
- (2) 評価期間: 整備期間+施設完成後の評価期間(50年間)
- (3) 費用及び便益の現在価値: 投資額、耐用年数期間内に発生する年間便益を、現在価値化(社会的割引率4%)して用いる。

#### 3. 総費用(C)の算定

総費用(現在価値) = 1,303 百万円  
建設費及び維持管理費を年度別に設定し、現在価値化した

区分	事業費	現在価値化
総建設費	587	1,168
維持管理費	-	135

単位: 百万円

#### 4. 総便益(B)の算定

総便益(現在価値) = 2,577 百万円  
想定氾濫区域における家屋・家庭用品・農作物・公共土木施設等の洪水氾濫被害が河川改良によって軽減される額を算定し、現在価値化した

世帯数 (戸)	農漁家数 (戸)	水田面積 (ha)	畑面積 (ha)	事業所数	年平均被害軽減額 (千円)	評価対象期間内被害軽減額 (百万円)
74	2	4		9	60,416	2,577

### 【費用対効果分析の結果】

$$B(\text{総便益}) / C(\text{総費用}) = 2,577 \text{ 百万円} / 1,303 \text{ 百万円} = 1.98$$

### 【参考】

区分	主な項目	H19再評価時	事後評価時	増減
費用項目 (C)	(1) 建設費	880 百万円	1,168 百万円	288 百万円
	(2) 維持管理費	110 百万円	135 百万円	25 百万円
	総費用	990 百万円	1,303 百万円	313 百万円
便益項目 (B)	(1) 治水	1,847 百万円	2,577 百万円	730 百万円
	(2) 残存価値	百万円	百万円	0 百万円
	総便益	1,847 百万円	2,577 百万円	730 百万円
B / C		1.87	1.98	